

山陽染工

(福山市)

探訪

603

ザ・カンパニー

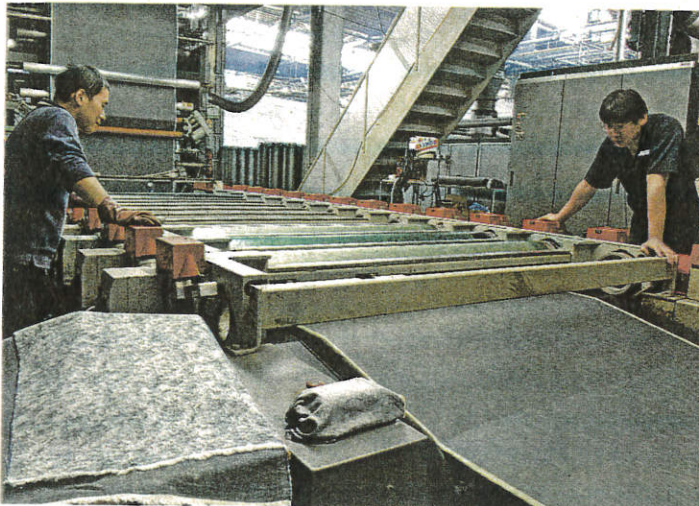
染めた生地から色を抜き、線や柄をつくる抜染。デニムの抜染加工では国内有数の実績を誇り、製品は米アパレル大手「ラルフローレン」をはじめ、国内外のブランドのシャツやベスト、スカートなどに採用されている。色を抜く薬剤の濃度や、薬剤を生地に付着させる圧力を微妙に調整し、数ミリ単位で加工できるのが強み。2014年には英国の高級生地メーカー・リバティ社の依頼を受け、デニムの色を2〜4段階で抜いて柄に濃淡の細かいグラデーションを付ける「インディゴ段落ち抜染」の技術を独自に開発した。

メモ
所在地 福山市一文字町(0) 業内容 染色、抜染加工▽売上高 12億7884万9000円(2018年3月期)▽設
立 1925年▽資本金 9800万円▽事 00万円(2018年3月期)▽従業員 91人

松本壮一郎社長(46) たな市場開拓にもつな
は「繊細なデザインを がっている」と自信を
要求される中、大量生 見せる。
産も可能な世界で唯一 日本三大絹の一つ・
の技術を確立できた。 備後紘の染色、抜染加
表現の幅が広がり、新 エメーカーとして19
25年に設立。70年以
降は、洋服の生地加工
を主力に手掛ける。最
近は国内の展示会など
で抜染技術の高さを評



松本壮一郎社長
25年に設立。70年以降は、洋服の生地加工を主力に手掛ける。最近国内の展示会などで抜染技術の高さを評



インディゴ段落ち抜染などの加工を手掛ける
山陽染工の工場

デニム抜染 独自技術開発

価され、取引も拡大している。

2013年には初の
自社ブランド「X S
ANYO(クロス・サ
ンヨー)」を創設。段
落ち抜染でバラなどを
かたどった浴衣を福山
市の企業と協業して商
品化したほか、今年6
月には府中市のシュー
ズメーカーと連携し、
段落ち抜染のデニムを
使ったスニーカー「B
ASSEN WORK
S」も発表。インター
ネット販売ながら、1
カ月で予定の150足
が完売したサイズもあ
るほど注目を集めた。
松本社長は「ブラン
ド名には製品を通じた
交流という意味がこも
っている。多彩な商品
展開で、技術力のアピ
ールや新たなビジネス
機会の創出を目指す」
と力を込める。

(松山慎二)
＝随時掲載